

# エゾノミツモトソウ

*Potentilla norvegica*

バラ科

魚類

底生動物

爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

在来種花

外来種花

哺乳類

鳥類

ワシシタカ類  
草原・樹林



エゾノミツモトソウ

## 名前の由来

北海道に分布するミツモトソウ。ミツモトソウは「水源草」で、湿ったところに多く見られることから名付けられた。  
漢字名：蝦夷水源(元)草

## 形態的特徴

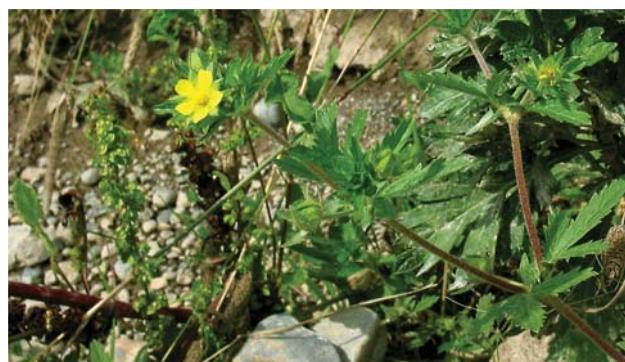
高さ20~60cmで、全体に長軟毛が生える。花茎は太くて硬く、上部でまばらに分岐する。葉は三出複葉で3片に分かれるが、茎下部では頂小葉が更に分裂して5片の小葉に分かれ、小葉は橢円形で縁に鋸歯がある。葉柄の基部には大きな托葉がある。花は黄色で径1cm内外、5枚の花弁があり、花弁よりはるかに大きく毛が密生するがく片に取り囲まれている。花は葉腋からのびる花柄の先に1つずつつく。

## 生育環境・分布

道端や草地の日当たりが良くやや湿った場所に生育する。  
**分布：**国外分布は、ヨーロッパ原産で北アメリカ、ニュージーランドなどに広く帰化している。  
国内分布は、北海道と本州(長野県菅原)。  
北海道内分布は、桧山以外の全道で確認されている。  
十勝地方では、道端や草地の日当たりが良くやや湿った場所に普通に見られる。

類似種と見分け方：ミツモトソウ。

ミツモトソウの葉の先端はとがるが、エゾノミツモトソウの葉は長橢円形で先は丸く、とがらない。



エゾノミツモトソウ



エゾノミツモトソウ



類似種のミツモトソウ。  
葉先がとがる

## 生活史

開花時期：6~9月。開花までの年数：1~2年草。  
寿命：1~2年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

■古くから北海道で知られており、ここから長野県などに「国内帰化」したと考えられてきたが、北海道のものも牧草の導入に伴って帰化したという。

■図鑑や文献によっては扱い方が在来種と帰化種にわかっている。

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期												
結実期												

## 参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001  
「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙譲 自費出版 2001  
「花のおもしろフィールド図鑑 夏」ピッキオ 実業之日本社 2001  
「原色日本帰化植物図鑑」長田武正 保育社 1976